

農作物病害虫発生現況情報（6月）キャベツ編

1 コナガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺数は、6月第1半旬にピークが見られた（図1）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年並に推移した（図2）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、5月第5半旬にピークが見られた（図3）。
- (4) 6月中旬の巡回調査では、産卵は確認されず（平年21.2%）、幼虫発生圃場率は8.3%（平年30.1%）で、平年より低かった（図4、5）。

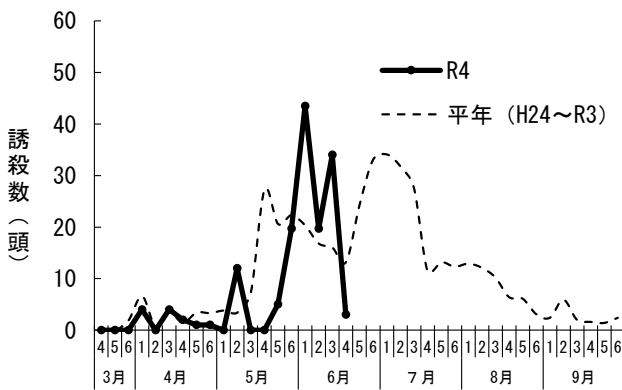


図1 基準圃場（北上市成田）におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

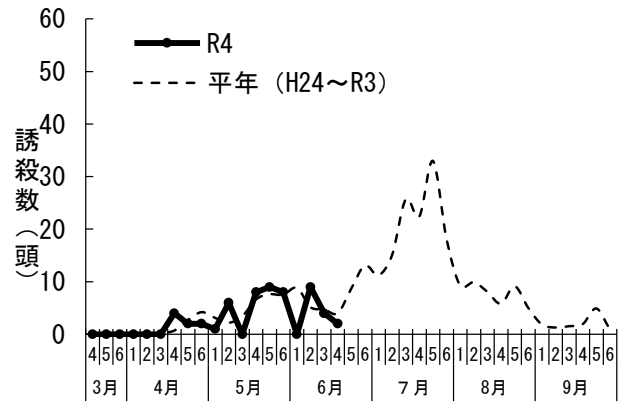


図2 軽米町におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

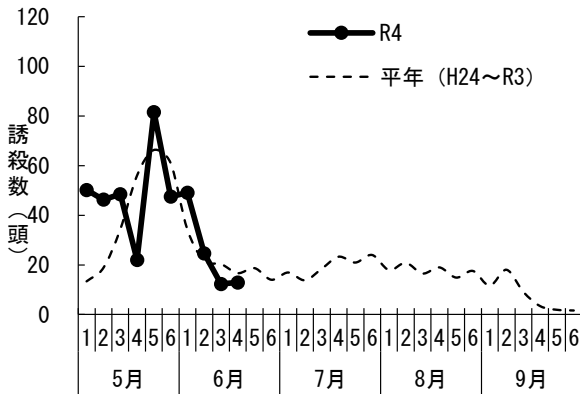


図3 岩手町におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

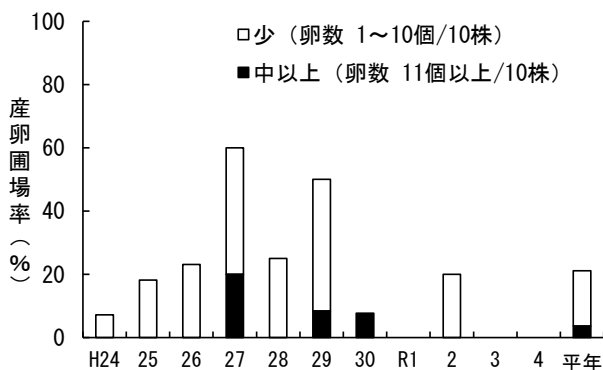


図4 コナガの産卵圃場率の年次推移（6月中旬）

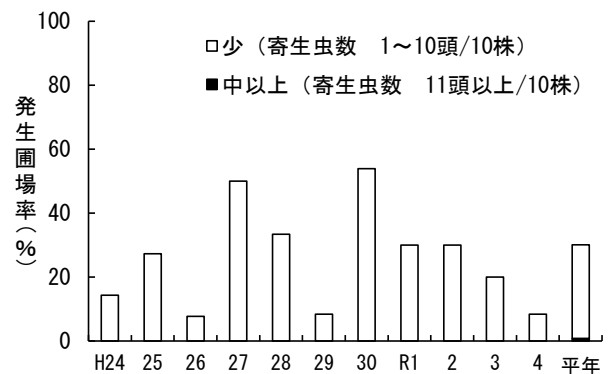


図5 コナガ幼虫発生圃場率の年次推移（6月中旬）

2 ヨトウガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップによる越冬世代の誘殺は、6月は確認されなかった（図6）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年並に推移した（図7）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップによる越冬世代の誘殺数は、6月第1半旬から大きく増加し、6月第2半旬でピークが見られた（図8）。
- (4) 6月中旬の巡回調査では、産卵圃場率は8.3%（平年32.2%）であり、平年より低かった（図9）。

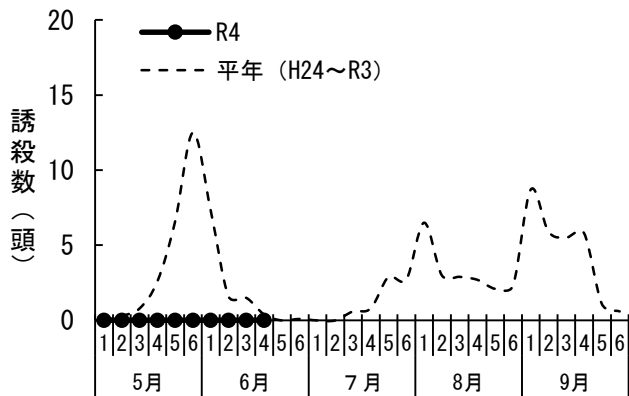


図6 基準圃場（北上市成田）におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

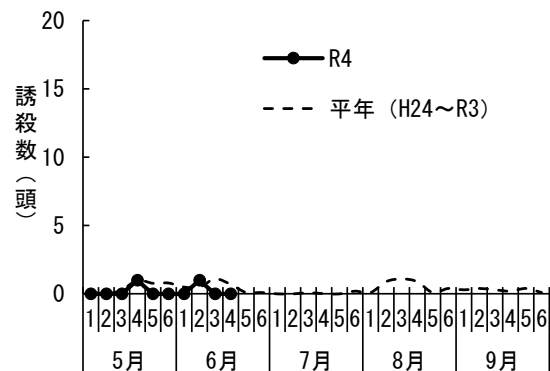


図7 軽米町におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

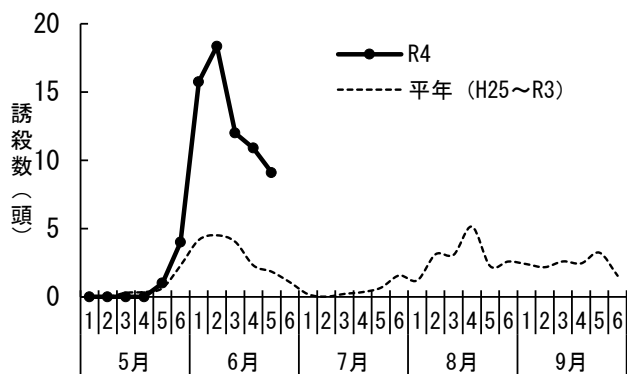


図8 岩手町におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

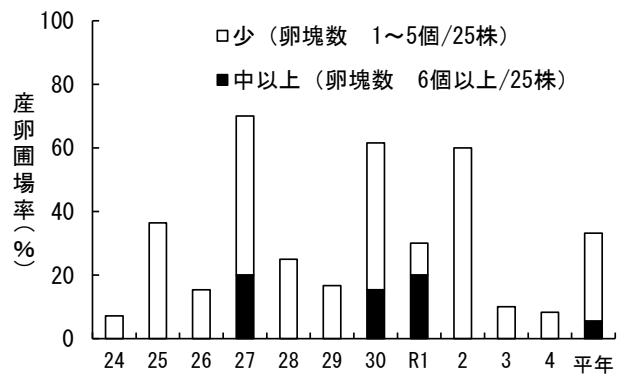


図9 ヨトウガ産卵圃場率の年次推移（6月中旬）

3 タマナギンウワバ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少なかった（図10）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、6月第1半旬にピークが見られた（図11）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや多かった（図12）。
- (4) 6月中旬の巡回調査では、産卵圃場率は25.0%（平年51.9%）で平年より少なかったが、幼虫の発生圃場率は25.0%（平年22.3%）で、平年並だった（図13、14）。

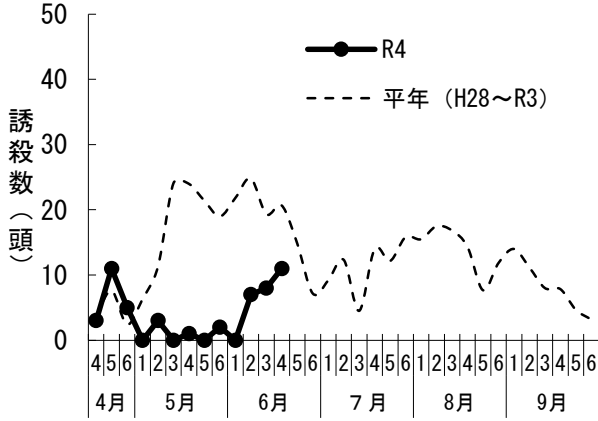


図10 基準圃場（北上市成田）におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

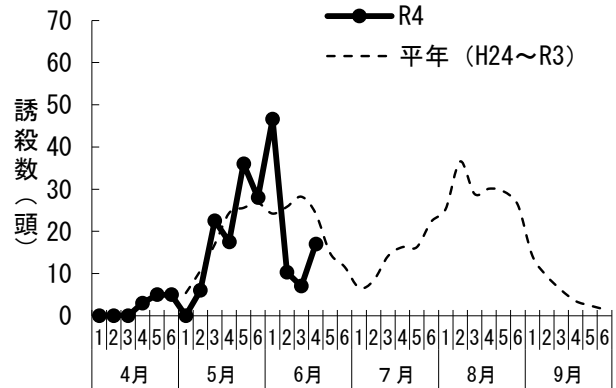
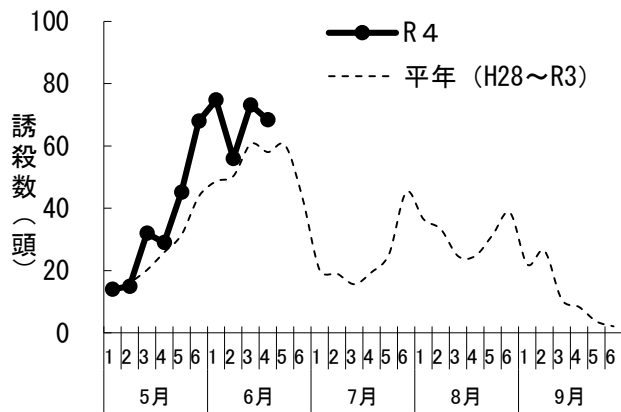


図11 軽米町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況



4 モンシロチョウ

(1) 6月中旬の巡回調査では、幼虫の発生圃場率は8.3%（平年4.2%）で、平年並だった（図15）。

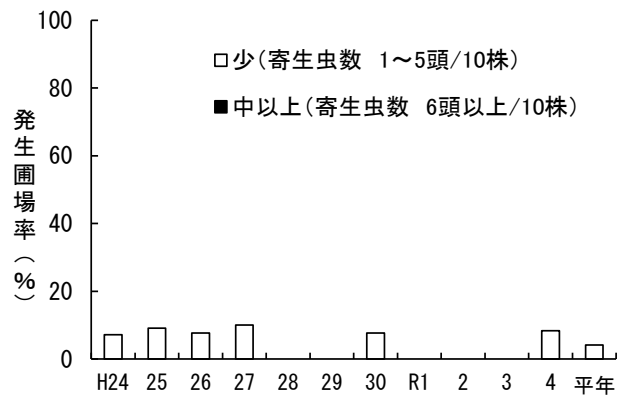


図15 モンシロチョウ幼虫発生圃場率の年次推移
(6月中旬)